

お迎え下校の協力ありがとうございます。

6月30日の【お迎え下校】のご協力ありがとうございます。今回のような大雨対応は、学校も判断に苦慮するところが多く、保護者の皆様にもご迷惑をおかけしたと思います。随時情報を集め予測を含めて、できるだけ早く判断をするよう考えています。今後も同様のケースが発生した場合、お迎えを依頼することがあろうかと思っています。ついては、このような緊急の保護者送迎措置について、大きく2つに整理します。

1 児童の登下校の安全を考慮する場合

・大雨、雷、暴風、積雪等で、通常時以上の登下校の安全配慮を要する。 など

→保護者の迎えは、ある程度時間幅があってもよい。

2 学校に長く留まらせることが高リスクとなる場合

・感染症拡大防止でできるだけ早い分散を要する。

・大雨等で城原川河川が決壊する恐れがある。 など

→保護者の迎えは、できるだけ早い方が望ましい。

いずれの場合も、児童を確実に保護者様に引き渡すことが重要です。今回のように「1」に該当する場合は、お迎えも慌てず、お仕事等の都合に合わせて来校ください。また、お迎えは必ずしも「車で」とは限りませんので、状況に合わせてご配慮ください。

緊急措置による保護者様のお車での送迎の動きは、次を基本とします。(今回と同じ)

【入口】(和菱会館側) → 【駐車】(和菱会館・体育館) → 【教室まで迎え】(各教室で担任から保護者へ引き渡し) → 【出口】(体育館側から左折で264号線へ)

※確認のため、お迎え前に、学校から保護者様の携帯や職場にお電話を入れさせていただくことがあります。

ご了承ください。

歯を大切に「8020運動」80歳で20本の歯を残す

6月21日の保健環境委員会による児童集会に感心しました。クイズあり寸劇ありで、フロア也大いに盛り上がっていました。保健環境委員会の子どもたちは、ひと月も前から準備に取りかかっていたとのこと。だから完成度も高かったんですね。

神埼地区学校保健会で歯科医師(中村歯科医)さんの講話を聞く機会がありました。小学生のむし歯は、この十数年来激減しているとのこと。過去、佐賀県は、12年連続全国ワースト1位の不名誉な記録もついていたそうですが、学校でフッ化物洗口が始まったり市販の歯磨き粉の改良が進んだりして、現在は九州トップクラスのよい状況なのとか。中村歯科医師さんからは、保護者の方に「子どものむし歯治療は、どんなに習い事や部活が忙しかろうと、絶対優先させてください。成人してからとても後悔します。」と伝えてほしいと強くお願いされました。

<むし歯ポスターコンクール 入賞おめでとう>

地区審査

特選

3年 濱野かいせい さん

準特選

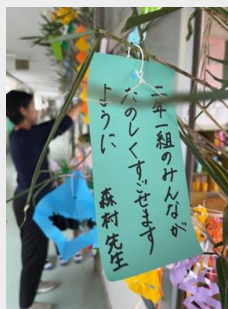
5年 貞包れいな さん



笹の葉～さ～らさら～♪

1年生と2年生のろうかに七夕飾りが出現してます。さて、今年は彦星と織り姫は、会えるのでしょうか。

そもそもなぜ願い事を書くようになったのか。現在のような七夕飾り(笹飾り)になったのは、江戸時代だといわれています。とりわけ江戸時代は寺子屋が増えたため、習字や習い事の上達を願う行事として親しまれ、短冊に願い事を書くことが広がっていったそうです。そう考えれば、七夕の短冊の願い事は、勉強や習い事のことを書くのが由緒ある書き方(?)なのではないでしょうか。しかしこの際「欲」でなければ「願」は何でもよいでしょう。森村先生の「願」のように。



だれか来て！
マイケルくんがたおれてます！



6月29日6年生を対象に「救急法講習会」を実施しました。中部小学校では毎年、赤十字の方をお招きして6年生に「人エムマッサージ」や「AED（除細動器）」の講習を行っています。

喉に物を詰まらせたときの対処法（背中のあるポイントをたたく）から始まり、救急車が到着するまでの救命処置まで2時間みっちり学習しました。

◆チョークサイン（チョーキングサイン）

→物が喉につまって苦しいことを人に知らせるサイン。
自分の首を両手で絞めるジェスチャーは世界共通。

◆救急車到着までの平均時間とその間の対処

→救急車到着まで平均8,9分

現在は、感染症問題もあり人工呼吸は絶対事項となっていない。心臓マッサージは絶対事項。

◆呼吸がとまっていたら迷わず AED

→AEDは止まった心臓を動かすものではない、止まる前の細動（鼓動に至らず心臓が震えている状態）を電気ショックで鼓動として安定させる装置。

校長として、大変うれしく思ったこと3つ

1. みんな真剣に取り組んでいた。
2. 友人（仲間）間の協力がすばらしい。
3. 赤十字の方から「あいさつ」「進んでの荷物搬入手伝い」を褒めていただいた。

※マイケルくんは、心臓マッサージの人形の名前です。赤十字の方がそう名付けられていました。



見守り隊に登録させてください

6月22日に見守り隊の方や交通指導員の方と連携協議会（顔合わせ会）の時間を持ちました。いつも子どもたちを外でばかり見ていただいているので、授業の様子もぐっつと参観していただきました。

地域の方で、見守り活動をされている方は、是非、学校の名簿に登録させてください。「家の前で登校の様子を見ているだけだから」「ウォーキングがてらに登校班について行ってるだけだから」という方も大歓迎です。何かの折で結構です。学校までお知らせください。

たった数滴のコーラで

6月22日には、5年生が総合的な学習の時間に、佐賀県環境センターの方を招いて環境学習に取り組みました。神埼市内のクリークや河川からくみ上げたサンプル水を使って、どのくらい汚れがあるのか調べました。「COD パックテスト」は、薬剤の入ったスポイト状のバックに調べる水を入れて、薬剤の色の変化を見ます。一見、少し黄色みかかったクリークの水も、COD パックテスト（有機物汚染の最大値 100）の値は意外にも0～5程度。そこで、今度はコーラをスポイトで3滴垂らしたクリークの水を調べるとマックス値 100 となりました。300mlほどの水にたった3滴でこんなに変わるとは、子どもたちも驚いていました。

飲み残しをクリークに流すのって、よくないということですね。結構やってしまってるように思います。



校長のひとりごと

2年生「校長先生！（校庭のクヌギに）クワガタいたよ！」

私 「ほんと？見せて。」（疑念）

2年生「逃がしてあげた！」

私 （えー、そこは見せにくところでしょ）（疑念×2）

私 「（一緒にその木まで行って）ここにいたの？いないね。」（疑念×3）

クワガタに似たゴミムシのことだったのだろうと、校長室に戻っていたところに、さっきの子らがどやどややってきて、

2年生「さっきの見つけた！ほら！」

私 「えーっ、ほんとにクワガタ（コクワガタ）じゃん。」

「これでもクワガタですけど 何か？」って主張するコクワさんと、私が疑ってるなんて思ってもいないであろう子どもたちの表情がなんともいえませんでした。

疑ってごめんなさい。中部小のクヌギの木にはクワガタはいます！

（↓これがゴミムシ）

